

改 變 生 活

改變生活 第二卷第十二號 昭和十四年八月五日第三種郵便物認可
昭和十四年十二月一日發行（每月一週一日發行）



號 月 二 十



(てに會大界世) シナス・オ・ニバが編者 軍年青の語を幻の變改界世

十二月號目次

新しき青年軍

道徳總動員

恒久的危機克服の道

MRAと日本

米國の聲

道徳の再構築

MRA世界大會印象記

證詞

心の友へ

米國の印象

私のMRA

保育園に歸りて

MRAと私

私の見たO君の改變振

アメリカの旗で見た事聞いた事……中田

ニユース

海外ニユース

内國ニユース

編輯後記

フランタ・ブツクマン……………五

三井 高 維……………八

ヘンリー・フォード……………一〇

フリーツァー……………一〇

ルーズベルト……………一〇

賀川 豊 彦……………一三

高原ダレース……………一五

大 演 講 満 子……………一七

小 野 渡……………一八

三 木 榮……………二〇

三 井 協 子……………二二

相 馬 雪 香……………二四

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

實……………二七

新らしき青年軍

(7330011)
 新らしき青年軍
 あらわゆる若き者なり 我ら若き者なり
 ちかむる世に ありふる世に ありふる世に
 ぞまはるる 新らしき青年軍 打ち建てん哉
 あいふみこひのあはれきよきすてたし
 やすきあすてしめあむらびさうけあたらしき
 くはうちたかき

新らしき青年軍

(一)

不屈の魂
地の果まで
ときめかせよ
踏みて行かん

我が御祖父よ
宣べつけし願音
我が心、みおやの跡
新らしき青年軍

(二)

折 満ち溢るゝ愛
返 神の計劃
し 安逸を捨て

青年、信仰、冒險
世を統べ給ふ
主の靈導受け
打ち建てん哉

(三)

明かなり
力の限り
御祖先の見し
決意もて

御神の計劃
聖業にいそまん
神支配の國の夢
現實となさん

聖別の握手

藤江正吾

昭和拾四年七月三十日夜、アシルモア大會堂に於ける最後の集會の感激的壯景は全くM.R.A.第二回世界大會中の精華たりし事を回想す。

連英比の大會を目指して集まり來れる世界各地各國、又各階級を網羅せる使徒數千人が米本國に於ける同志の多數と、彼のロスアンゼルス郊外聖地の稱あるパサデナに於ける調練集會を終へ、ホリウッドボール大會の記録的大會合を経て風光明媚なるモントレキ地方パシフィックグロリアにあるホテルアシルモア大會堂の十日間の意義深きハウスパーティーを通し、語らんとする總てを語り盡し聴かんとする總てを聴き盡し、今や各自の胸奥に各様の強き態度を以て所謂充ち足りし満足と今後の積極的活動の決心とを抱きつゝ、司會者ブツクマン博士の懇厚なる終會の言葉に次いで、全員總起立皆腕を組み交して隣席者と向き握手を爲しつゝ、送別の歌「榮の光」を高唱連唱せる時、滿堂の全員等しく眼淚には期せずして熱きものゝ宿れるを觀たり。

實に國、人種、言語、風習を異にせる者から大多數者の會合にて眞に心と心が結合し、互に感謝、激勵、愛、友交に満ち溢れたる彼の感激的情堂に浸り得し幸福を今更乍ら染々と回想し深く感銘する所なり。

表紙寫眞説明

八月一日、桑港萬國博覽會に於けるM.R.A.の進軍。各國の代表が國旗を振り、或はナショナルコスチューム(各國の服裝)に着飾つて、大博覽會場の廣場を行進した。此の日朝六時を振り出しに前後三回、海外並に國內M.R.A.特別放送を行った。

道徳總動員

道徳總動員とは、道徳並に精神力を總動員する事により、時代の力に率先して、人間と國家とを改變することである。それは誰しが必要とする新しい考へ方、新しい指導力である。道徳總動員は黨派、階級、民族、信條、意見或は個人的利害を超越した、今日全世界に沸興しつゝある一精神力である。人間の智慧は失敗に歸した。唯創造主なる神のみが解答を有し給ふ。

今日我々の要望するものは、新しい家庭、新しい産業、新しい國家、新しい世界、即ち神が支配し給ふ世界である。道徳總動員は、心の改變及び神の靈スピリット等に對する必要性を我々に示すものである。道徳總動員が萬人によいものであることは勿論であり、而かもそれは、我々に必要缺く可からざるものである。それは申す迄もなく、他の國家を改變するのに、非常に役立つものであるが、就中自分の國と自分自身を改變するものである。それは又家庭に於いては日用の必需品とも云ふべきものである。それは、總ての根本的な忠誠を振起せしめる。實に國家にとつても必要欠く可からざるものである。

彼の南極に飛行したバード將軍は「余は南北兩極を探險し、また大西洋をも横斷飛行したが、オツクスフォードグループと共に通した廿四時間は、それ等の経験よりも更に一層興味深いものであつた。道徳總動員こそは、アメリカ人の血をたぎらし、彼等をして積極的行動を開始せしむるの決意を喚起するであらう」と述べてゐる。

道徳總動員は、實業に於いても、恐怖の重荷を取除き、勞資の協調を齎らす。

例へば英京ロンドンの貧民窟に住み、四十二萬の失業者を代表して、一昨年開かれた世界勞働組合會議に出席した

一 共産黨指導者に對し、ケンブリッヂ大學出身の貴族の一青年が、超自然力に導かれて、交友を求めた。彼は自國內の勞資難反、階級闘争を慨き、階級間の愛の架橋を熱望して、歡迎どころか、却つて猜疑の眼を以て見らるゝ事をも覺悟し乍ら、此の勞働者の宅に同居を求めた。その勞働者の代表は、資本家の代表とも見らるゝ此の青年を凡ゆる不自由な目に會せることは、日頃の恨みに對する腹達せのチャンスであり、且彼の屬する資本家階級一般を覺醒せしめる一助ともならんと、その同居を肯じた。然し勿論其の爲には、客間だの、寢室だのといふ設備はない。此の青年貴族は二脚の椅子を寢室にして三週同居を共にした。その間此の勞働代表はこの客人の精神に感じ、或る日、彼自身此の新しい生活を實驗して見様と決心した。即ち彼は神に靜かに聽き始めたのである。處が奇蹟が起つた。それは改變即ち人間の性質が全く改變する、生れ變りの奇蹟である。其の勞働者は、早速自分の家庭をはじめ、彼が無産階級を代表して出てゐる市會でも、更に政府に對しても心から謝つた。新しい精神が、周囲の社會に擴がり、延いては全國更に他の國に逆影響を與へた。

此等の二人は全く親友となり、其の後共に生活し、共に旅行をして、十四ヶ國を遍歴し、階級闘争に對する眞の解答を證して歩いた。今夏カリフォルニアに開かれた第二回M.R.A世界大會にも二人揃ひで出席してゐたが、大會後此の勞働代表が、その青年を加州に残して、歸英するに際し、その青年に書き送つた手紙は次の様なものであつた。

「僕の心は、神の造つた此の地上に於ける最大の男たる貴兒を、いつも思つてゐます。貴兒は、いつも『何、僕などはやくざものだよ』と云ふが、結局我々の生涯はみんな、イエス・キリストのそれに比べるとやくざなものですかね。……貴兒がいつも僕に示してくれた正直と愛とに對しては全く感謝の辭がありません。もう二度と會へないかも知れぬと思ふと（戦争の歐洲へ歸つて行くのだから。譯者註）僕にだつて別れる事は實に辛いです。だが、どんな事が起つても、また我々の生涯がどの様に轉回し様とも、愛するMよ、僕の心は、一人の人間が持ち得る最

高の友である貴兄への感謝で一杯だ。貴兄に對する愛は、實に極く僅かの人間のみが、お互ひに對して持ち得る程度の高いものである事を信じて頂き度い。僕は僕の血の最後の一滴迄、貴兄とフランク（ブツクマンの事譯者註）とそして神と共にゐます。神が常に貴兄と偕に在し給はん事を。

敬具

ビ
ル

また此の「ビル」と稱する勞働代表と來てゐたもう一人の勞働者のリーダーは、「我々は、嘗つて我々の階級に對する條件がよくなる爲めに戦つた。然し今は總ての階級に對する條件が一層よくなる爲に戦ひつゝある」といふてゐる。もしみんなが十分心懸け、みんなが十分頷ち合つたならば、みんなが十分必要を充される様になるんではあるまいか。

科學界の泰斗ウキリアム・ブラツク卿、アーサー・エディングトン卿其の他の科學者達は、「自然科學の進歩を來す爲めに携はつてゐる總ての者は、どうしても道德總動員に關心を持たざるを得ない。自然研究によつて獲得せられた新知識の結果如何は、それが受け入れられ且用ひられる精神に據るものである。然るが故に、我々は科學者として、道德總動員の成功を切に祈る次第である」と語つてゐる。

道德總動員は、危機を永久に克服する力である。絶對正直、絶對純潔、絶對無私及び絶對愛を標榜する道德總動員は、實に世界の凡ゆる問題の徹底的解決をせざれば歇まない新興勢力である。

處で我々は一體どうして此の道德總動員の一部分たり得るか。道德總動員は入會若しくは脱會したりすることの出来ないものである。然しそれは、誰でも生活し得るものである。道德總動員に我々が登録するのではなくて、道德總動員が我々に登録して來るのである。カナダの出版業者は、道德總動員を稱して「それは何かの機關ではない。亦意見でもない。それは自分から始める事によつて世界の改變を來らせるものである」といふてゐる。

道徳總動員には、會員といふものがない。それは組織ではない。有機體である。それは總ての生命に關はりがある。道徳總動員には會員名簿も、役員も、會費もない。然しそれかと云ふて、星雲の様に漠然たるものでは決してない。それは現實の力、今や全世界六十數ヶ國に於て驚くべき實證を擧げつゝある一勢力である。道徳總動員は總親和を來す土壌である。その目的は、憎惡と恐怖及び脅威より解放せられたる世界の出現である。

道徳總動員は、大抵の人の中に潜在してゐて、凡ゆる眞實の生活と、凡ての自由との根本原理をなすものである。實は我々の凡てが、共有遺産として、斯かる生活の原理を幾分かでも有してゐるのであるが、不幸にも今日の世界情勢は、明かに、我々がそれに従つて生活してゐない事を示唆するものである。

或るカトリック教徒の著者が、『舊教の世界』誌中に、『私は世界の破れた均衡を修復するのにオックスフォードグループが著しい力を有するものであることを感じ始めた。オックスフォードグループが何等特別の信條、教會的組織或は行政を有しないといふ事實は、舊教カトリックと新教プロテスタント、更に他の凡ゆる眞銀に考へてゐる人々を協力せしめる爲めの未だ嘗つてなかつた手段となるべきものである』といふてゐる。

道徳的立直しこそは、とりもなほさず經濟的立直しの先達とならなければならない。といふのは今日の危機とは、根本的に道徳的危機なるが故である。

絶對正直、絶對無私の新興精神が總ての國を風靡したならば、どうなるかを想像せられよ。現代の悲劇は神が忘れられてゐるといふことである。『神は我が牧者なり、我乏しきことあらじ』と詠じた古への人を想ひ見よ。世界の經濟が餘りにも長く人間の支配下にあつて、神支配の下になかつたのである。互ひが貪る代りに、與へ合つたとしたら如何。

道徳總動員に應召せんとする人々は、高い、普通人よりもズツト高い試験テストをパスせねばならない。唯口に階級間の

理解を語るだけでは十分でない。階級間の平等の爲戦つて来た敵手と一緒に生活し、旅行する時にその試験が課せられるのである。道徳總動員は理論でなくて、實踐である。生活によつて實踐せられなければならない。及第ではない。

ノールウエーの國會議長が嘗て歐洲の各國を代表する首相や外相の大勢出席してゐる會合に於て、道徳總動員を語り、「此の人々は、我々が失敗して来た根本的なものに成功してゐる。彼等は我々が長年求めて求め得ざりし建設的平和を創り出してゐる。彼等は我々の見失つてゐる秘訣を握つてゐることを余は深く感ずる。我々は實にそれが欲しいのである。然るが故に我々は彼等を招いて、既に彼等が多くの國々に提供してゐるこの道徳總動員に備へる正しい理解を與へて頂き度いと存じた次第である。我々は政治を改革することに失敗してゐるが、彼等は生活を改變し、男女を問はず、新しい生活の道と與ふることに成功してゐる」と述べた。

此の道徳總動員に参加するには、最高の勇氣を要する。然しそれは最も偉大なる力を與ふるものである。人類と國家の將來は、創造主にして今も萬有を支配し給ふ神に靜かに聽きて服従するか否やに據つて左右せられる。

恒久的危機克服の道

フランク・ブツクマン

若し一億人が神に聽くならば、戦争なんか不必要にする世界の輿論をつくるだらう。私は道徳總動員によつて隣人間、國際間一切のへだてを取除き、且つ道徳總動員こそ危機に對する恒久的克服の道であると確信して居られる各國

の既知並に未知の方々に代つて申上げたい。危機に對して一の解答がある。危機は我々の失敗を明示するものである。事を誰でもが知らねばならない。危機が破滅に陥らない中に我々はその眞の原因に直面する勇氣があるであらうか。我々自身こそはその原因である。現状に我らを至らせたのは各國否我々一人々々の生活の故ではなかつたか。總ての國家、總ての個人がこの現状に責任がある。失敗は一國にかゝるのでなく全世界にかゝつて居る。我々は均しく責がある。といふわけは總ての國に苦々しさと分裂及び破壊を生み出した力が働いて居るからである。國家といへども個人と同様互の擧げ足をとることこそすれ自國の過失に對しては全く盲目である。利己主義な男女こそは戦線の聲を擧る事を必要ならしめる者である。我が國と他の凡ゆる國々を通して壓し寄せる無私な人々の波こそは戦争に對する恒久的解答ではあるまいか。

我々は皆平和を望んで居る。我々はそれを之まで種々の條約、聯盟、聯合、組織の改革、經濟會議、或は軍縮會議の中に追ひ求めて來たが無駄だつた。我々は平和を要望して來たが、今だにその値を拂はうとは決してしてゐない。その値とは我々自身と我が國が間違つて居た點に神の前に於て直面し、且つ命じ給ふまゝにあやまちを正さうとすることである。

他國の過失を誇張して指摘する代りに、我々自身の過失を正直に詫びる時にこそ初めて新しい精神が生れる。我々は皆——國家も個人も——改變を必要として居る。かゝる危機に際しては、もし指導者が變れば、國民を變化さす事が出来るし、またもしも國民が變ればその指導者を變化さす事が出来る。

今日の危機は道德の問題であつてその解決は只道德總動員の精神即正直と正義及び愛の精神によつてなされる。道德總動員とは人々を即ち友人も敵も自國並に他國をも變化さす力を意味する。我々は豫期しない矛盾論にも備が出來ていなければならぬ。誰でも自國に對して責任がある。國民が擧つてかゝる國政を求めるならば國々は正直に過去の

過失を認めて詫びる様になるであらう。

各人は直に自分の本分をつくさねばならぬ。各人は先づ自分の心の變化を受入れる事が可能である。日毎神にきかうと決心する事も出来る。又憎悪、恐怖、貧慾より解放された世界を打立てんと着手する事も出来る。世界には各國の必要を充すに充分な物資がある。然し貧慾を飽かすには不充分である。

恒久の平和確立に必要な犠牲は空しい戦争の犠牲に比ぶべくもない。

利己的な恐怖に追はれてゐる世界にも生ける神にきくには今でもまだ遅くはない。外交政策に忘れられて居る點は神こそ平和確立に輝かしい計畫をもち且つ喜んで服従せんとする男女をしてそれを實行なさしめ給ふといふ事である。凡ての忠誠にまさるものは神への忠誠である。全民族が神への忠誠をつくしてこそ各國はその眞の運命を發揮しうるのである。これこそ眞の忠君愛國ではないか。それには實に最高の勇氣が要る。同時に亦最大の能力を興へられる。

最も鞏固な國防は隣國への愛と感謝である。各國の國民は極力破滅を防ぎ、悲劇を見ずして、萬人の待望する平和を打建てんとする政治家を極力支持するものである。各國の政治家や指導者は果して過去を正し、將來を建設するこの計畫に一致しないであらうか。

この偉大なる眞理を既に體得せし幾百萬の人々は他の幾百萬の人にこれを傳へねばならぬ。もしも今聽取されて居る人々々が既に道德總動員に生きて居る人々にその始め方をお尋ね下されば世界を速に改變する大いなる助けになるであらう。一億人が神にきく時戦争を不必要とする輿論をもち立てるであらう。この危機を考へればこそ我々は、一億人が神に聴くに至ることを願つてゐる十二月一・二・三日をまたずして、今日世界に呼びかけてゐるわけである。

我々は國家大の考へ方と行動を必要とする。我々が平和にさせえないからこそ現に戦争があるのである。我々は過去に用ひた方法によるよりも幾倍もまさる有益な結果を平和な方法によつて獲得しうる。我々はまづ新時代、新人格、

新家庭、新産業、新政府、即ちその建設的計畫の力で戦争と産業上の不安とを追い拂ふ處のものに向つて進まねばならぬ。この現代に於て我々は正當なる平和——恒久的平和——の創造者を創らねばならぬ。もしもかうした考方がヴェルサイユ會議を支配してゐたならば、我々は再び危機の苦悩にさらされる事はなく、且つ廿年間の悲劇は姿を消してしまつてゐた事であらう。

戦争の威嚇は今一度我々一切の價値を再檢せしめる。神に對する個人及び國家の絶対服従こそは今日の世界の必要かくべからざる事である。文明は實に危險に瀕して居る。

世界の將來は神に聽き且つ従ふ人々及び國家の双肩にかゝつて居る。

M R A と日本

三 井 高 維

今日全世界を舉げて最も要望してゐるものは、所謂「新秩序」の名によつて叫ばれるものである。所で果して世界に新秩序は到來するであらうか。こゝに一つの大きな運動が起つた。即ちM R A (道德總動員)である。これは飽くまでも誠實、無私、愛、純潔の四大精神を以て貫き、没落せる世界文明に活を入れ、人と人、國と國をつなぎ、四海協力してよりよき世界の建設に従事せむとするものである。ひるがへつて我が國の現状をみるに今や二千六百年の歴史を經、新東亞の建設に乗り出さんとしてゐる。この機に際し、日本のM R A は東亞に、且つ世界に如何なる貢獻をなし得るかを考へてみる必要がある。『個人間の道德を國際間にまで延長せよ。』これは日本精神の底深く流るゝ所で

ある。只之の實行こそは日本の世界に貢献する所以である。

「アメリカよ目覚めよ」で始められたM R A世界大會に出席して一番自分が感じた事は、自分は見界を百八十度回転回しなければならぬといふ事である。之まで自分は物を考へるに、日本を中心として考へてゐた。否自分を中心として批判してゐた。結局自分本位より出發したものであつた。しかし之は大いなる誤で世界からみた日本、世界からみた自分、さういふ風に考へる事が、今の日本に必要である事、かくしてこそはじめて世界の新秩序に日本は、又自分は貢献し得るのである。例へば日本の實業家の目的といふものは、本當に世界新秩序の建設のためにやるといふ標準になれば、結局世界をリードし世界に貢献出来るのである。その方法は勿論組織も機構も改善せねばならぬが、根本は總て個人の行爲によるもので、自分の詰らない一行爲が世界に影響するのである。結局道徳的回復が世界の經濟、實業、外交その他一切を解決する鍵である。道徳的に皆が目覚めれば勿ち戦争がなくなるといふ意味でなく、個人に確信が出來て、凡ゆる方面の組織に統一、結合が出來、この事が結局實業方面にも外交方面にも影響を與へるのである。夫れ程各自の責任は偉大である。

次に自分の今一つ學ばねばならぬ事は、得る代りに與へるといふ事を常に考へる事である。與へる事が出來れば自然に得る事が出来る。たゞ得る、搾取するといふことばかり考へるからこそ、そこに我利々々主義の問題が大きくなり、かゝる思想が一國を否世界を風靡するのである。要は與へる精神が行きわたる時、産業は興り、且つ亦勞資間の争ひも解決されて来る。

元羅府商業會議所會頭イーストマン氏は「……日本程ワングラフルで歎へられる國はない。何とかして好ましい情勢に日米間をしたい……」と述べ、あの反日感情のけはしい米國に多大の感銘を與へたのであつた。又四十二年間漢口を中心と傳道した一ビショップは「四十年間自分は米國へ支那の間違つたレポートを送り、之が今日アメリカの反

日輿論をつくり上げた一原因になつてゐる事を思ふと私の責任は大きい。支那事變に對するアメリカの責任は多大である」と全く涙ながらに詫び之の放益が全米に大なる感激を興へてゐる。

世界の問題は政治でも經濟でもなく實に人間である。之は東亞及び日本にも云ひうる事でこのM.R.Aの運動が世界に又日本にひろがつて行けばゆく程東亞の黎明、世界の曉が来るのである。而してそれは皆我々一人々々の肩にかゝつてゐる。

米 國 の 聲

フォード會社々長 ヘンリー・フォード

自分はM.R.Aの目標を確信してゐる。今日、公私の生涯に於て切實に必要な態度及び努力が、即ちこの目標である。惟ふに我々一般に昔よりもずつと鞏固な健全な道徳意識を有して居る。普通の人間は生來正直で穩健な考方をなし、又家庭とか子供とかいふ小さな世界を作り、唯平和と良き秩序と公平な取扱を切望してゐる。フランク・ブツクマン氏の先導するオツクスフォードグループは普通の生活の正直さ、愛の深さ、を最も高く評價せんと努力してゐるが、之が即M.R.Aであり、自分の衷心より賛同するところである。人間には戦争や階級闘争や不景氣を克服するだけの誠意がある。たゞ之が人事や國際問題に働きだせばよいのである。この努力はこれまで各國の政府に缺けてゐた點であり、且又氣付かずに來た有益なる能力である。吾人の道徳確信を公の政治に移すこの運動こそ次の時代を建設する人々に訴ふるものである。

◇

元大統領 フーヴァー

以前には少数の男女がしつかり立つてゐた爲に、世界は混亂から守られて来た。これは彼等が世界の混亂たる状態に對して明確な解決を握つてゐたからでもなく、又解決する權力を有してゐた故からでもなく、而も世界の平和を維持して来た。その故は彼等は個人々々の生活の中に、或る道徳的、精神的標準を保持してゐたが爲にしつかり立ち支拂の光を掲げて、遂には危機をすら脱しえたのであつた。彼等は眞理、正義、寛容、慈悲、隣人への尊敬を單純に受入れてゐた故である。世界に斯る道徳の旗が高く掲げられる時、この今の混亂は遂から解決を見るであらう。現時の世界に必要なものは堅實なる道徳的、精神的理想に立ち歸ることである。これ以外に現在人類の發展に寄與する道はない。

◇

ニューヨーク州知事 レーマン

この重大なる時期に際し、吾々國民は黨派心を越えて、愛國心によりて我が國の將來に慮さねばならぬ。吾々の公私の生活を鼓吹する神への信仰に根ざした道徳意識を發揚せねばならぬ。このMRAのプログラムこそは必ずや現時の問題に解答を與へ、アメリカ舉つてこれに協力する事の出来るものである。

◇

大統領 ルーズベルト

世界の根本力はその民衆の道徳力に依存する。故にMRAが最もその眞價を發揮する爲には、世界は舉つて之に參加せねばならぬ。

道徳の再構築

賀川 豊彦

道徳再構築運動

歐洲の混亂は日本に影響するところが決して尠くない。第二次歐洲戦争が長びけば、日本の經濟界は却つて好轉するといふ観測が一部に行はれてゐる。それは大正七八年の夢からまだ醒めない人のいふことでそれらの人はその後大正九年に來た不景氣のことについてはあまり考へない。好況時に儲けた二十四億の金貨を皆吐き出してしまつても尙足りなくて困つたのが、九年以後に於て我々の経験した苦しみではなかつたか。何れにしても時代の悪化する傾向を見て我々は大に自勵しなければならぬと思ふ。

歐洲では近頃、ロンドン、ロサンゼルス、ハリウッド、ニューヨークと言つたやうなところで、世界が軍備擴張に波頭してゐる半面に於て、道徳の再構築運動が力強く動いてゐる。道徳運動を以て軍備に代へようとする運動である。實際、さうしなければ文明の崩壊を止めることが出来ないといふ考へが、歐洲の青年の間に擡頭してゐる。一九三九年度のロサンゼルス、ハリウッドに開かれたその大會には、全世界から四萬人の人が集まつたが、三萬人だけ出席することが出来て、一萬人は席がない爲に空しく歸らなければならなかつたといふ盛況であつた。歐洲の堅實な青年の間には、どうせ戦死するなら、寧ろ道徳革命に献身しようといふ者が多く、さうした告白によつて、この大會は

一段の緊張味を見せた。日本の代表も十人ばかり出席したが、説明が徹底しないで恥かしかつた、と森牧師から私は聞いた。

で、私はこのときパウロの道徳的齟齬と言つた言葉を考へずには居られなかつた。

パウロ時代のローマは、暗殺と革命の歴史に過ぎず、暗い血腥い、道徳的發狂時代と言はれてゐるのも洵に理由のあることであつた。パウロはかうした時代に、神の七つ道具を身に纏うて、キリスト的訓練を高調して歩いたのであつた。

たとへば剣を持たないでもキリスト者は神の武士だ、といふのがパウロの確信であつた。

キリストの弟子たる者は皆平和主義であるから、戦争の準備は不要だと思ふ人があればそれは全く誤りである。キリスト者は常に時代の悪い力と戦つて行く準備を整へて居なければならぬ。それをパウロは繰返して書いてゐるのである。

私はエペソ書の全文は、そつくり今の日本に當て嵌るものだと思ふ。今の日本に何よりも必要なことは道徳の再編装である。

要は腹の据え方

問題は腹を据えると据えないとにある。この頃のやうにお米が高くなつてはやり切れないと心配をする。しかし、米が高ければ神でも粟でも料理法を考へて米の代りに食つて行かうといふ腹がありさへすれば少しも心配はないわけである。神様のお造りになつたものは皆いゝものばかりだ、と腹を据えてかゝれば、どんな苦しみにも堪えられる筈である。

フランシスカン運動

フランシスカンの運動は三つの團體によつて遂行された。即ち第一教團は男の團體、第二教團は女の團體で、第三教團が奉仕團體であつた。そしてこの教團の運動には四つの原則があつた、愛と清貧と服従と敬虔と。そして又これがこの教團に屬する者の一生を通じての教條でもあつた。後にヨーロッパでこの模倣者が出来て、正直、純潔、愛、正義を四絶對として信奉するといふやうな思想も現はれた。

時代が悪ければ悪いほど奮起を要する、徒らに遁世気分になるのはキリスト的ではない。我々は常にフランシスカンの第三教團の人々のやうに、捨身となつて愛を行ふ者となるの覺悟がなくてはならない。そのためには道徳の再編裝をする必要がある。

私は今度『景教東漸史』の翻譯を雙文書院から出すことにしたが、景教の人は五世紀から十三世紀頃までの間、ヨーロッパで排斥されて、印度から支那へ、それから更に日本にまで延びて來たものである。思へば不思議といふより外はない、さうした底力の太い線が見えざる世界に昔も今も働いてゐることを考へると、徒らに時代が悪いからと言つて引込んでゐるべきではない。印度には今、景教の感化を受けた人が百五十萬人も残つてゐる。私はその人々に講演をして來たが、我々も時代に快まず一人々々神の應召兵として、再編裝に身を固め、第三教團に加つて邁進するほどの意氣を養はなければならない。

M R A 世界大會印象記

高原 グレー ス

殆んど凡ゆる民族と國家から、老若男女、夫婦、家族、總て神の指導の下に、世界改變の役割を務める爲め、M R A 世界大會に馳せ参じました。そして十日の間、約千五百名が一つの大きな家族として共に生活した事でした。此の家族中一番若いのは、僅か十六ヶ月の赤ちゃん、此の大會が非常に大切だと感じて、紐育から大陸を横断して加州へやつて来たお母さんと一緒に来た男の兒でした。此の他子供を家に残して来たお母様方は数知れずでした。もう既に結婚をした息子や娘と一緒に来た両親も多数ありましたが、皆M R A を通しての新しい愛に和合して、楽しい家庭として来ておりました。子供達もいましたが、彼等の生涯に對

M R A 世界大會印象記

する神の御計劃を體驗することを學んでおりました。一番多いのは何んと云つても青年で、精力と熱誠に溢れ、皆我等の一切を要求する此の道德總動員に、一切を捧げ様と決心した若者達でした。私は此等の青年達の顔が非常に美しいのに深く印象づけられました。それは心の中の純潔と鍛練から来るものであります。二人の盲人姉妹も出席しておりましたが彼等の生涯にM R A を見出した事により非常に楽しい由を語つておりました。

遠い國々から来られた方々の多くは、また近い處から来た方々でも必ずしも金持の方ばかりではありませぬ。旅費を容易に工面する事の出来ない人々もありました。然し彼等は

自分自身の、或はM R A の幻をハツキリ持つてゐる友人達の犠牲によつてやつて来られたのです。スエーデン及び加奈陀の子供が、彼等の両親やお友達が此大會に出れる爲に夏休みに儲けた貯金を喜んで提供した様なお話を聞きました。また他の人々は、もうすぐ恩給のつく職を辭し、或る者は生命保険の保険金を賣り、または養老の爲めの貯蓄を取出してやつて来たとの話を聞きました。また或る學生は教科書を買ふ爲めに貯めた金を費してやつて参りました。中年の姉妹は、他の方々と一緒に、ポストンからロスアンゼルス迄寝臺もたらずにやつて参りました。英國の庭球選手は、練習期間を妨げられる爲ウインブルドンで勝つチャンスを逃す様になる事も覺悟して喜んでやつて来ました。スコットランドの一青年は、未亡人である彼のお母さんが、過去九年間お父さんの記念

碑の爲めに貯へた金を全部投げだし、自分を大合に出席させた由を語つてみました。また催かの給料を買つてゐる友人達が、その友を大合に送る爲め、數週間晝飯を抜いて金を蓄めたといふ様な話も聞きました。

英國から、歐洲から、僅か一晝夜乃至二晝夜の達しで飛び出して来た方々も多くありました。飛行機で急行した方々も多勢ありました。マニエントといふビルマの女流教育家はビルマから英國に飛び、一英國教育家はジャマイカから、そして一人の支那のお嬢さんはホノルルから飛行機で飛んで来ました。

大合のいろいろな事が實に滑かに而かも整然と進められて行つたのは全く驚かされました。集つてゐる總ての人々が、一生懸命で、よく訓練されて協力し、各々の材能を惜しまなく提供してゐる様は私に大きな印象を與へました。或者はタイプラ

イターをたゞき、ボスター畫きをや、本を賣り、作曲をし、歌を唱ふ等。または新聞紙にニュースを送り、ニュースリールの爲めの活動寫眞を撮り、ラヂオ放送の準備を助け、またレコードに吹き込む世話をする等全く自覺ましい働振りでした。其人々は眞剣で、今日世界が如何にM R Aを要してゐるかを熟知してゐるので彼等の最善、最高のものを少しも惜しまずまた賞めて貰はず欣んで捧げ盡してゐました。彼等は自己の慰樂や安全の爲めに働いてゐるのではなく、人々に對する愛、また世界改變の爲めに働いてゐるのです。

世界大合のメッセーヂは、實に希望と激進に充ちたものでした。私共の失敗、即ち世界の失敗は、我々が自己の我が儘な欲望や計劃によつて生活を送り、現實に直面せず、他人を愛せず、憤怒と偏見よりなる小さな世界に包まれて生活して来たから

であります。然し反對に、もしも私共が神の計劃に従つて、我々の生活を改變したならば、この世界は戦争、失業、ストライキ、離婚、不正利得等の混沌状態から改變せられるでせう。戦争の際は私共は否應なしに最善を盡さねばなりません。我々は神の愛が、此の地上を支配する様になる爲めに、何故最善を盡さないでせう。

次の様な合言葉が大合中に語られました。即ち

「M R Aは、人々を分争せしめるものゝ代りに、人々を一致せしめるものの上に建設せられつゝある」、我々は神に指導權を復古せしめねばならない、此處にゐる一人が神の導きに従ふ事が世界を救ふことになるかも知れぬ、神の與へ給ふ内なる鍛練の他、何處からも斯かる幸福はやつて来ない、過去六十年の歴史は、神

お元氣ですか。長い間お便りをせず
 るてごめん下さい。お會ひしてから一年
 を経ましたね。この夏の旅の後で、さす
 がに偉張つてゐた僕も四十度も發熱して
 四日程床中であつたものです。別に病
 氣と曰ふのではなく、極度の疲労の結果
 であり。もう大丈夫になつてゐます。

高尾兄にお別れしてより私は二日に
 シカゴ市の方に行き、ワシントン市に廻
 りついで畑内大使の所で二十日程暮しま
 した。大使達はとても元氣で、頭の下る
 様な立派な生活をなさつてゐられます。
 あんな政治家こそ世界の實だと存じてゐ
 ます。そこでオフィスの方達や、米國の
 社會的に影響の多い人達に會つて話しま
 した。神の導びきに依る交はりの中か
 ら、國民と國民との新しい交はりが出
 て來、そこから國と國との新しい關係
 が出るべきと思ひました。丁度神支配の
 家庭關係の様なものです。

次に大使と川本兄とのお伴をして、ユ
 ーロクに行き、そこでも同様の御來仕
 をしました。楽しい二十間であつたと思

ひます。又カルバリー教育で日曜の夕に
 話しもしました。高尾兄は覺へてゐられ
 る事と存じますが、その時、リウ君と曰
 ふ中華民國の友人に會ひました。一日私
 の友人二人を（日本人）つれてそのリウ
 君と食事を共にしましたが、あの反日の
 思ひが全く去り、崇い様な心で自國の悪
 いところを詫び、又新しい日支關係の
 ためにの決意を語つてゐられました。私
 の友人も驚嘆してゐたものであります。
 その支那料理屋にある排日ガスターと比
 較して見て、神支配の人の心の尊さを思
 ひました。お家庭が神の聖旨の流れ出づ
 る、發電所の様である事を祈ります。他
 の人のためにお働き下さる様に。神様の
 ために働く人だけが、更に深く神様の恵
 みを知るものです。果をむすぶ枝は何時
 も祝福されるものです。

私も働きます。時々私は靈の休日を持
 ちたい心が起りますが、その心が人の世
 の悩みの種である事を思つて、休みなし
 になります。今週も土曜はハリファツタ
 スの市の人のため、日曜はウインザー市

のため集會に出かける筈であります。
 靜聴の生活は如何でありますか。毎日
 の靜聴の生活がそのまゝ神の御用となり
 證となる事をお思ひ下さる様に。お子様
 達のため心からお祈りしてゐます。

在カナダ 中田 實

（六）人貪り、文明喰ふである。
 世界は貪慾と自己主義に酔つぱらつ
 て、盲目感情に駆けつくり廻つてゐる。
 「MRAは、誰にでも世界に對する指
 導權をとるチャンスを提供する。」
 私自身にとつて、此大會は、生涯
 に於ける最も著しい經驗の一つであ
 した。如何に私の幻が小さかつたかに
 氣が付き、いつも自分の持たないも
 のを欲しがり、與へる代りにいつも
 貰ふ事計り考へてゐた自己主義な者
 であつたかに氣が付きました。あの
 大會以來私は毎日、神様のお恵みを
 數へ、神へ對する感謝の念に滿され
 て居ります。そして新しい喜悅と
 満足、それは持つ事或は得る事から
 ではなく、與へる事及び與へんとす
 る欲望の故に起る喜悅と満足を新た
 に學びました。
 「MRAは自己主義との戦争」であ
 ります。

編輯記 後

十月號を「道德總動員」特輯號の形で出しました處、諸方から追加注文が殺到し、遂に一冊も手許に残らないで出て仕舞ふといふ始末でした。M R Aに對して斯かる反應を見た事は御同慶に堪へない次第です。日本の道德總動員の爲めにお互ひ前進せねばならない欲だと痛感致して居ります。本月もかかる意味で「道德總動員」の號吹に努めました。フランク・ブツタマンの文は十月のものを再録しま

した。尙賀川豊彦氏のものも雑誌「雲の柱」より許可をえて抄録したものです。

本號は特別號として特價二十錢と致し

ましたが、續いて御購讀の方には餘分をお支拂ひ願ひません。但し可なり餘分に印刷致しましたので、もし追加御注文の御希望の際は一部二十錢の割でお願ひ致します。來年度からは定價一部二十錢値上致し度いと存じてゐます。但し十部以上まとめて御注文の方々には一冊拾五錢の割でお願ひ致します。

讀者諸兄姉のよき御賜年をお祈り申し上げます。
(高原・庄田)

購 讀 料

來年より値上げ致します

部 二十錢

一部一年購讀 貳圓四拾錢(郵税共)

十部以上かためて御注文の際は

部 拾五錢の割

(郵税は小包料實費頂きます)

改 變 生 活

特價 二十錢

昭和十四年十一月廿八日發行

昭和十四年十二月一日發行

編輯兼 高 原 義 男
發行者 東京市豊島區豊島町二

印刷者 笠 井 重 治
東京市京橋區高島町三ノ十七

印刷所 國際出版印刷社
東京市京橋區高島町三ノ十七

發行所 改變生活發行所
東京市豊島區高島町二

電話掛號東京一六〇〇一〇

Vol. 2

No. 12



員 動 總 德 道